

平成28年度全国学力・学習状況調査、
奈良県学力・学習状況調査の結果について

奈良県教育委員会

・他府県との比較及び県内団体間の比較については、公立学校のデータを利用しています。

(P1～P18)

・私立学校については、本調査へ参加した学校のデータを集計したものです。

(私立学校の参加は任意)

(P5～P8,P15,18)

目 次

平成28年度全国学力・学習状況調査、奈良県学力・学習状況調査の結果について

- 1 学力・学習意欲の状況について P 1
- 2 規範意識の状況について P 16
- 3 学力と学習意欲、規範意識の関係について P 19

1 学力・学習意欲の状況について

1-1 学力の状況(小学生)

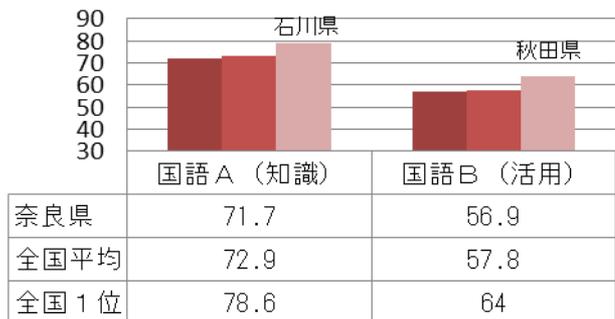
・小学生の学力の状況を4教科の平均正答率で見ると、国語A、算数A、国語B、算数Bの全ての教科で全国平均を下回った。また、全ての教科で順位を下げた。

参考:A問題は「知識」の問題であり、B問題は「活用」の問題であってPISA(OECDの国際比較学力テスト)型学力に対応する問題である。

平均正答率の全国平均との差の推移

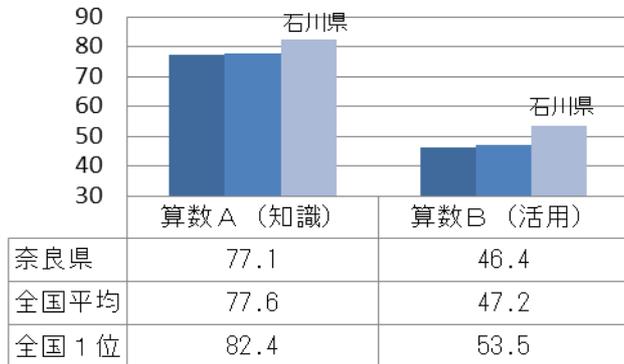
H28平均正答率(国語)

(%) ■ 奈良県 ■ 全国平均 ■ 全国1位

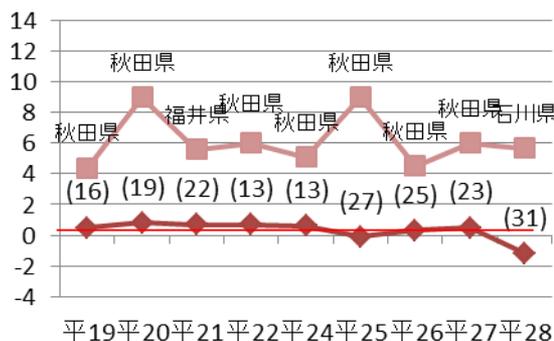


H28平均正答率(算数)

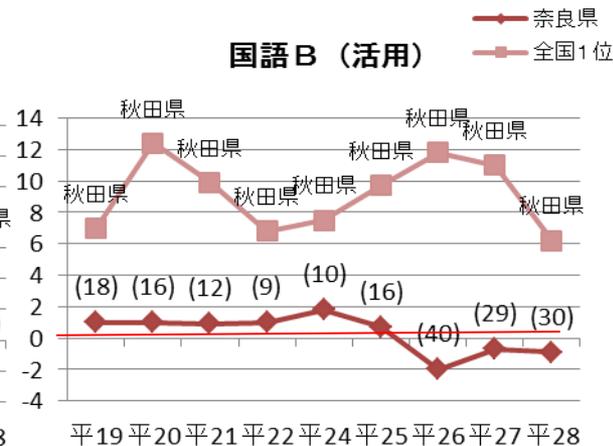
(%) ■ 奈良県 ■ 全国平均 ■ 全国1位



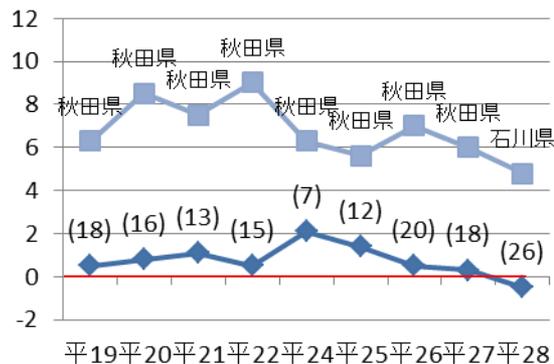
国語 A (知識)



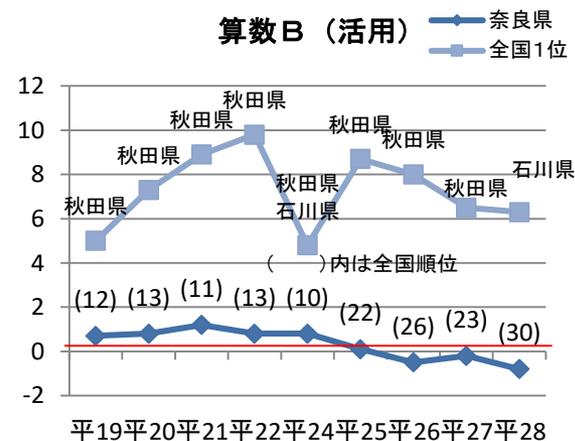
国語 B (活用)



算数 A (知識)



算数 B (活用)



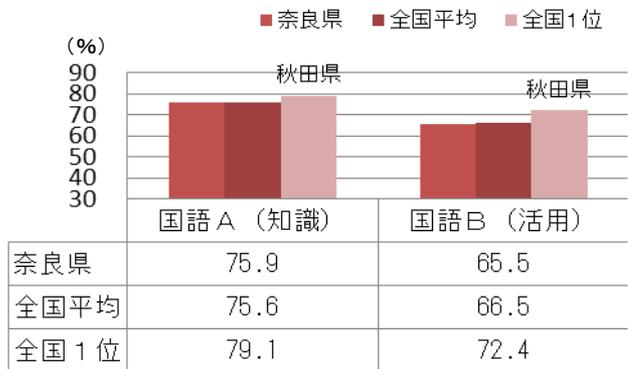
()内は全国順位

1-2 学力の状況(中学生)

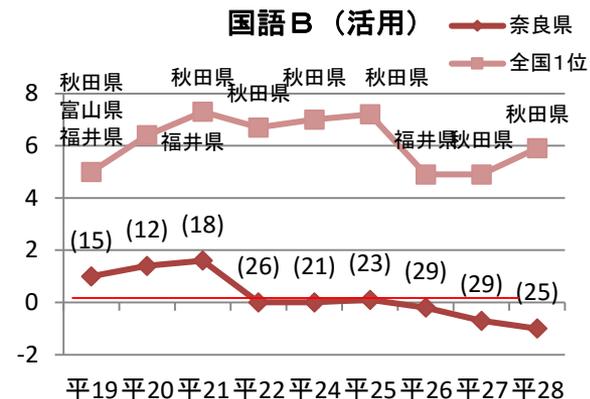
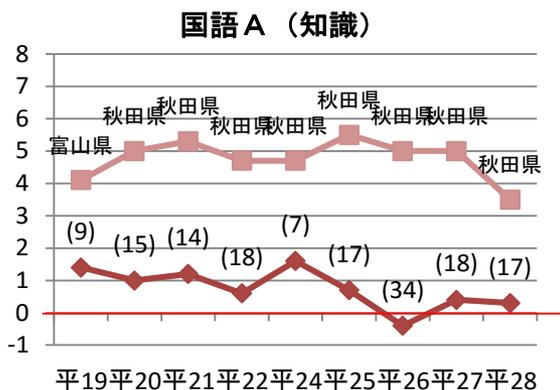
・中学生の学力の状況を4教科の平均正答率で見ると、国語Bで全国平均を1ポイント下回った以外は、0.1~1.4ポイント上回った。また、数学B以外で順位を上げた。

参考:A問題は「知識」の問題であり、B問題は「活用」の問題であってPISA(OECDの国際比較学力テスト)型学力に対応する問題である。

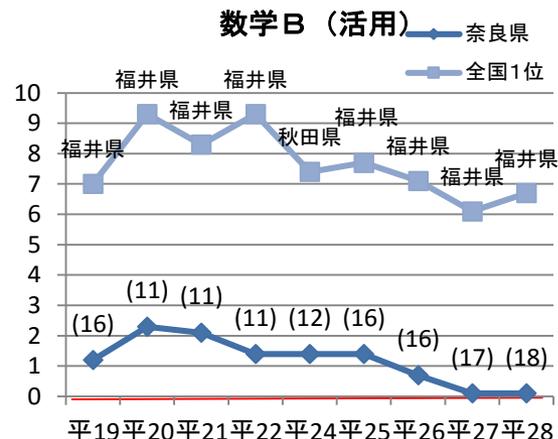
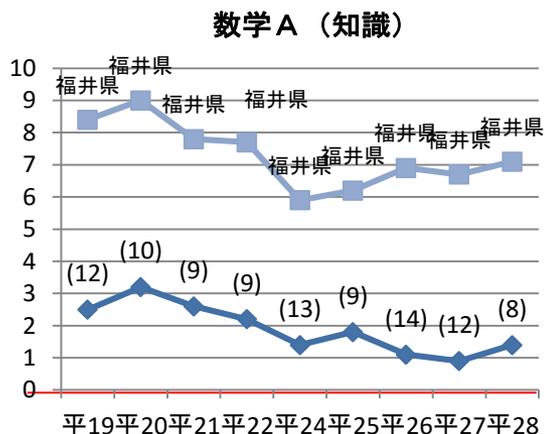
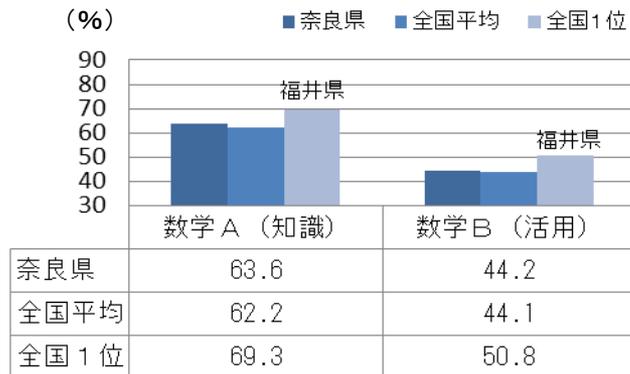
H28平均正答率(国語)



平均正答率の全国平均との差の推移



H28平均正答率(数学)

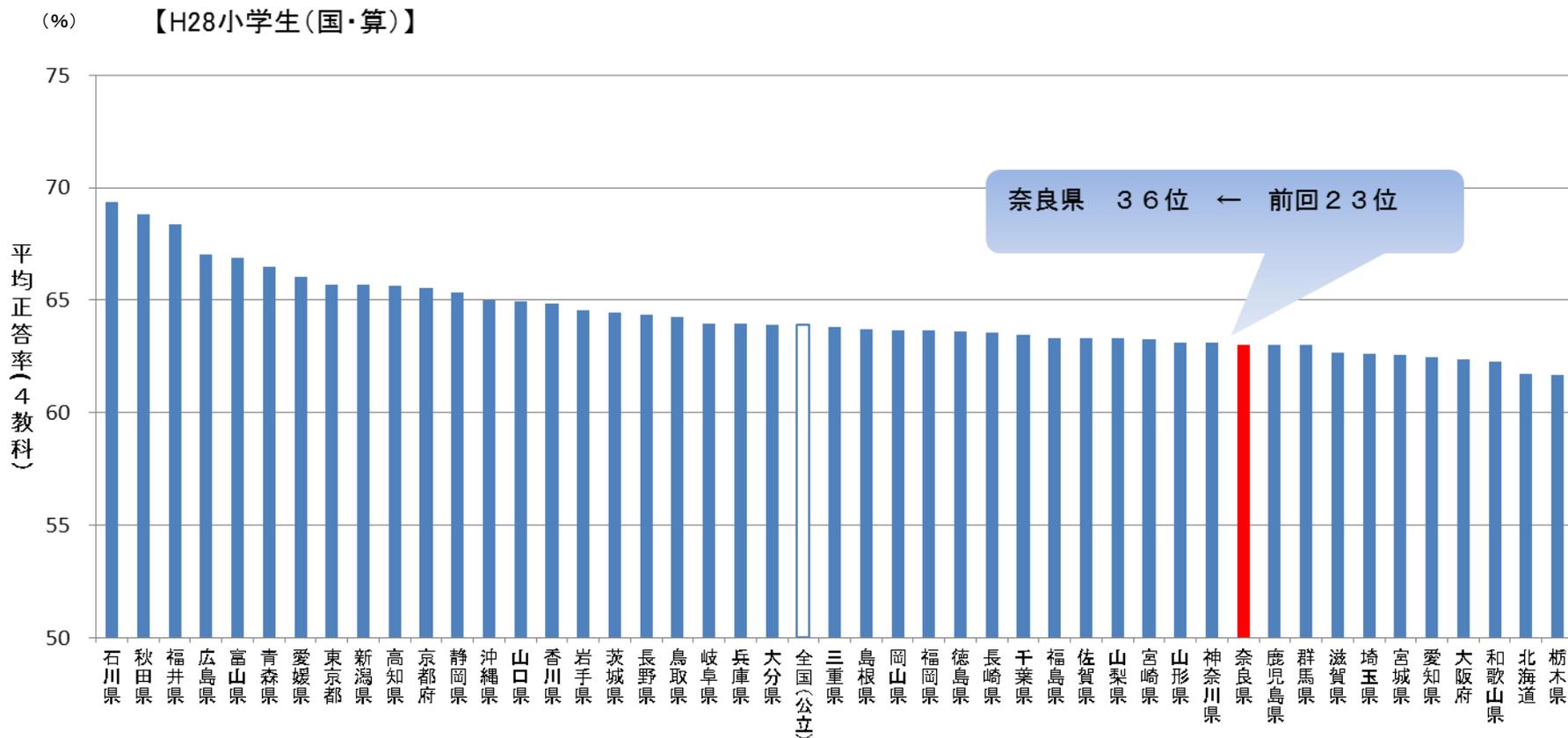


()内は全国順位

1-3 学力(都道府県別・小学生)

・都道府県別に平均正答率(4教科総合)を見ると、奈良県は小学生36位(昨年度23位)。石川県、秋田県、福井県が昨年度と同様に上位を占めている。

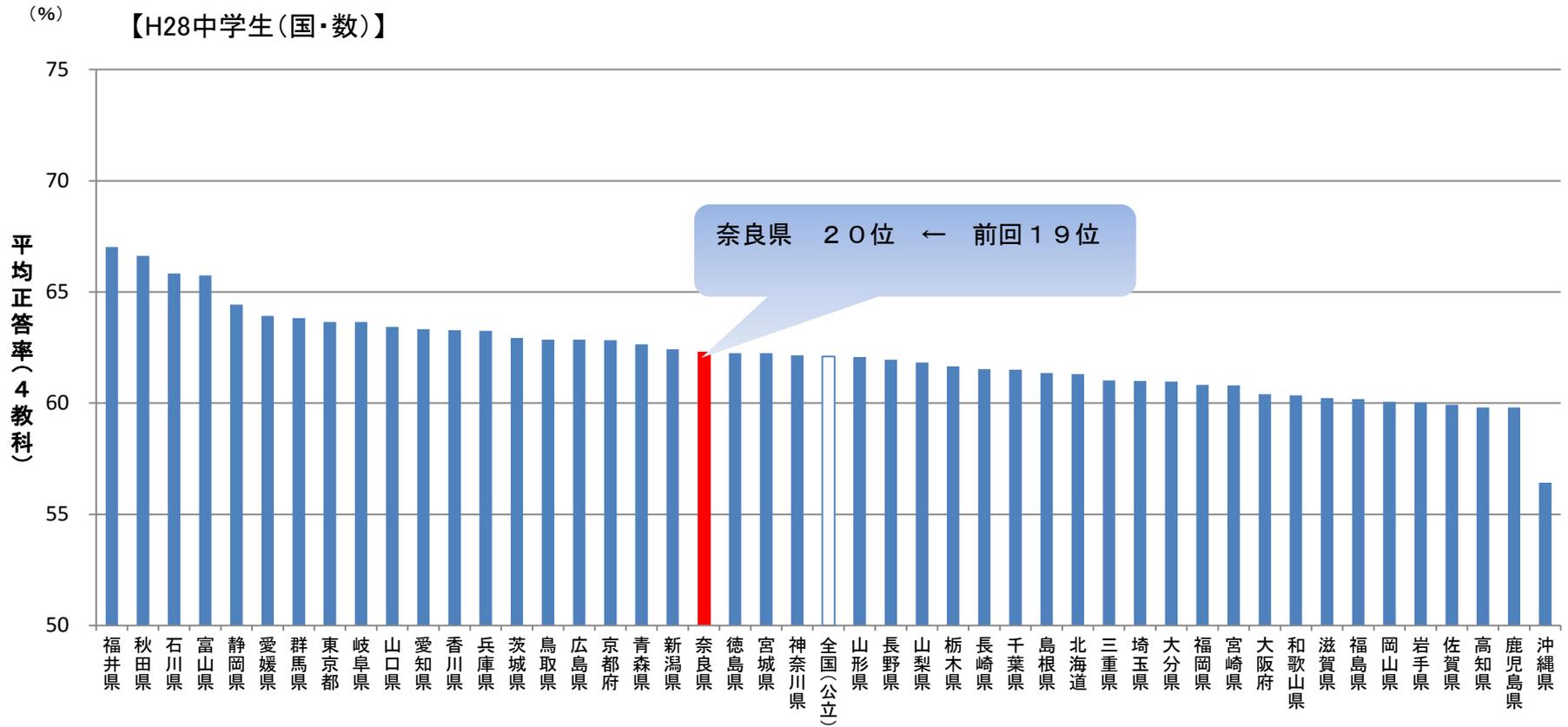
(注)4教科総合:国語A、B、算数・数学A、Bの各平均正答率を相加平均したもの



1-4 学力(都道府県別・中学生)

・都道府県別に平均正答率(4教科総合)を見ると、奈良県は中学生20位(昨年度19位)。福井県、秋田県、石川県が昨年度と同様に上位を占めている。

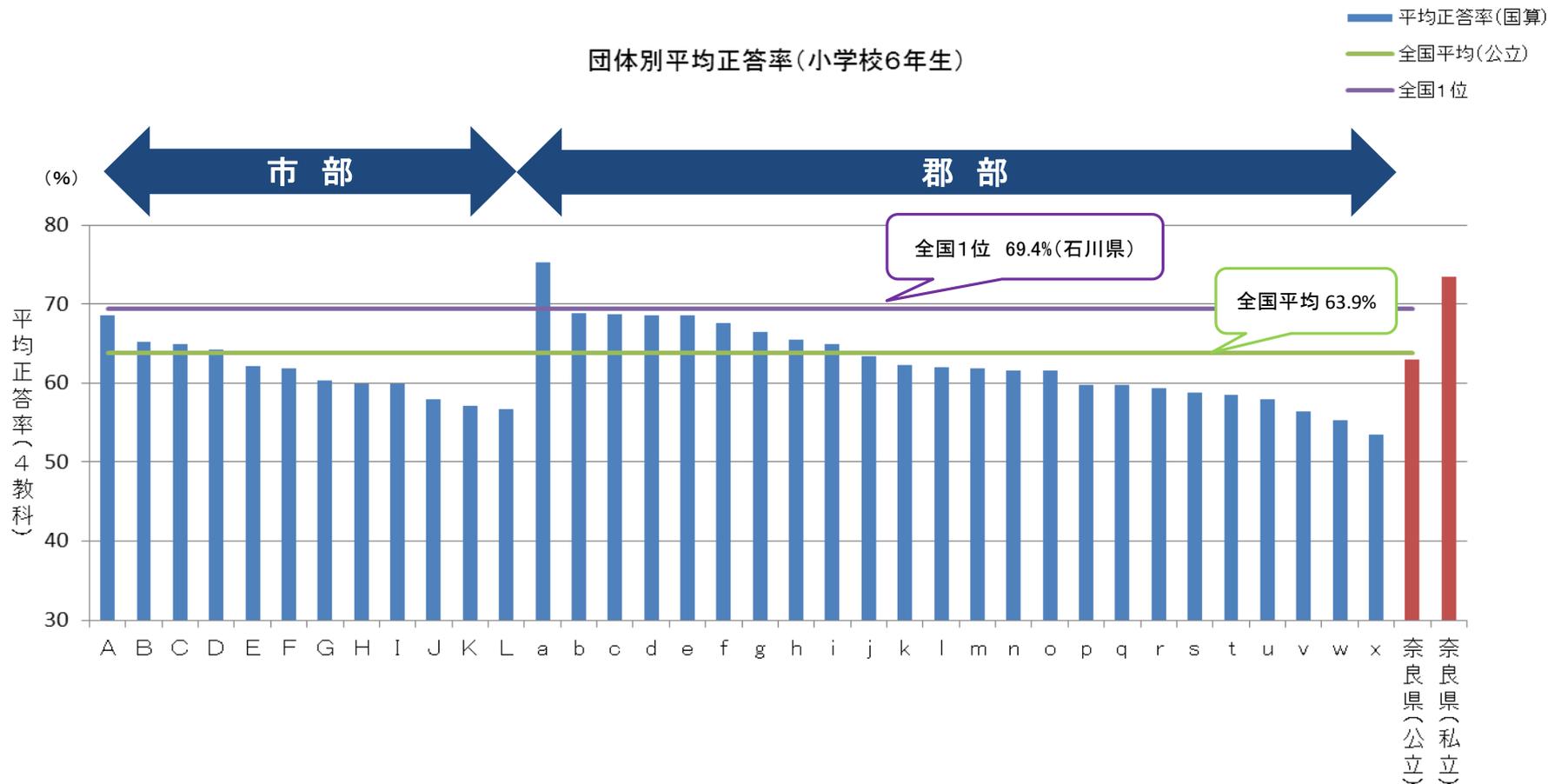
(注)4教科総合:国語A、B、算数・数学A、Bの各平均正答率を相加平均したもの



1-5 学力(団体別比較・小学生)

・団体別に平均正答率(4教科総合)を見ると、全国平均を上回っているのは、市部では12団体のうち4団体33.3%(H27 25.0% H26 33.3%)。郡部では26団体のうち11団体42.3%(H27 33.3% H26 22.2%)。

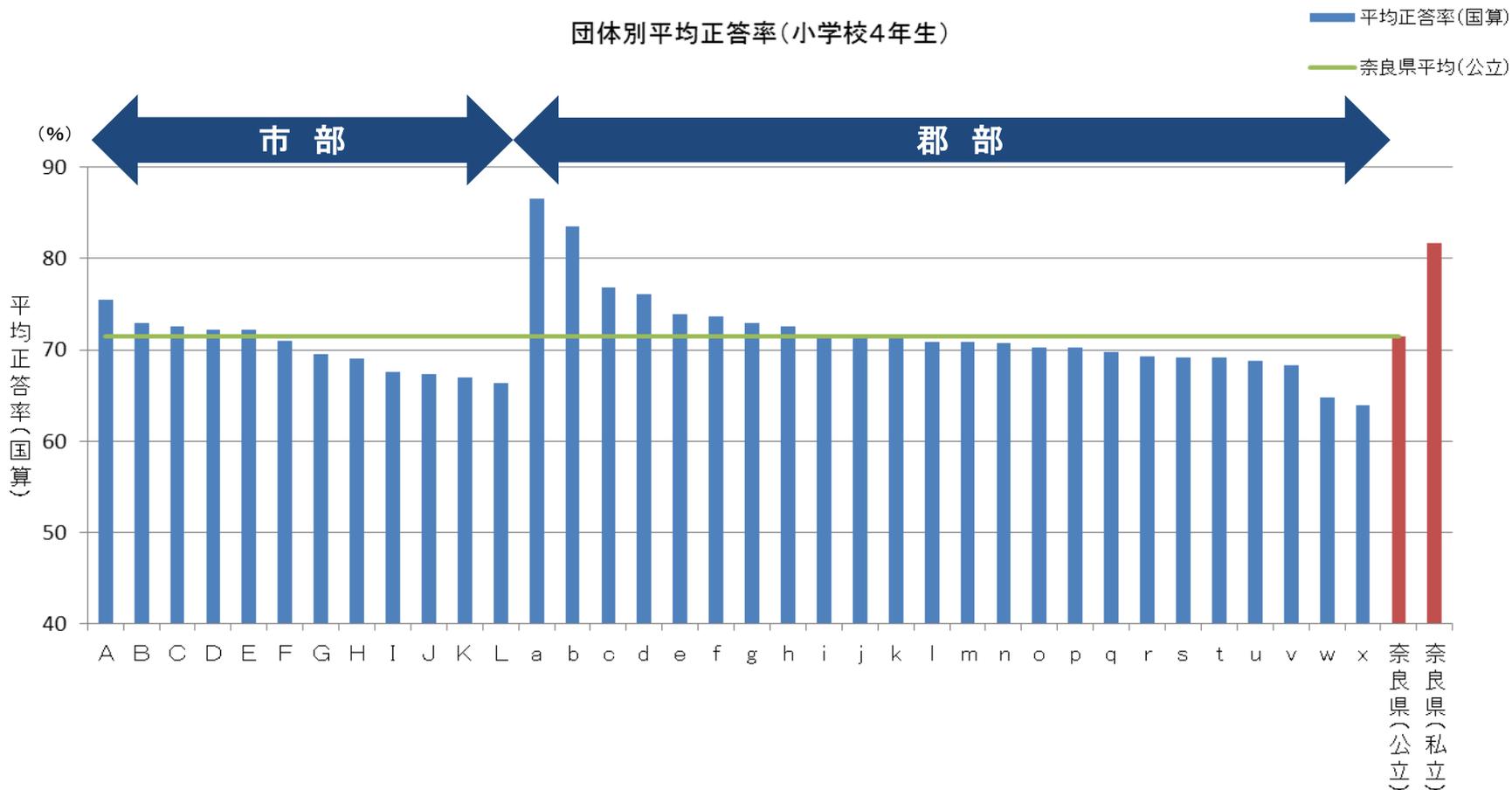
注)4教科総合:国語A、B、算数・数学A、Bの各平均正答率を相加平均したもの



※ 児童数が3人以下の3団体は非表示。

1-6 学力(団体別比較・小学校4年生) ※奈良県学力・学習状況調査の結果より

・団体別に平均正答率を見ると、奈良県平均を上回っているのは、市部では12団体のうち5団体41.7%。郡部では25団体のうち9団体36.0%。

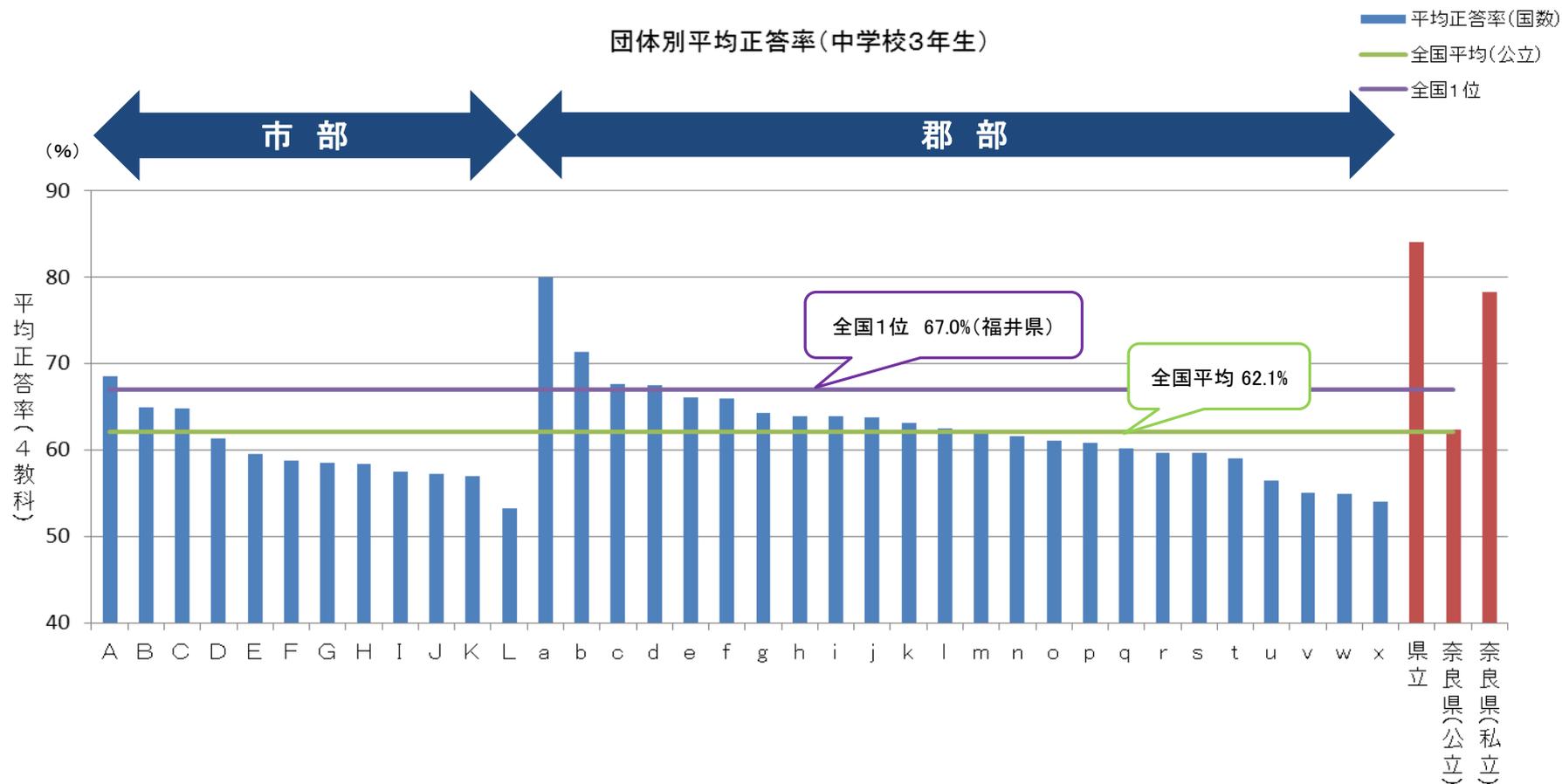


※ 児童数が3人以下の3団体は非表示。

1-7 学力(団体別比較・中学生)

・団体別に平均正答率を見ると、全国平均を上回っているのは、市部では12団体のうち3団体25.0%(H27 25.0% H26 25.0%)。郡部では25団体のうち13団体52.0%(H27 44.0% H26 57.7%)。

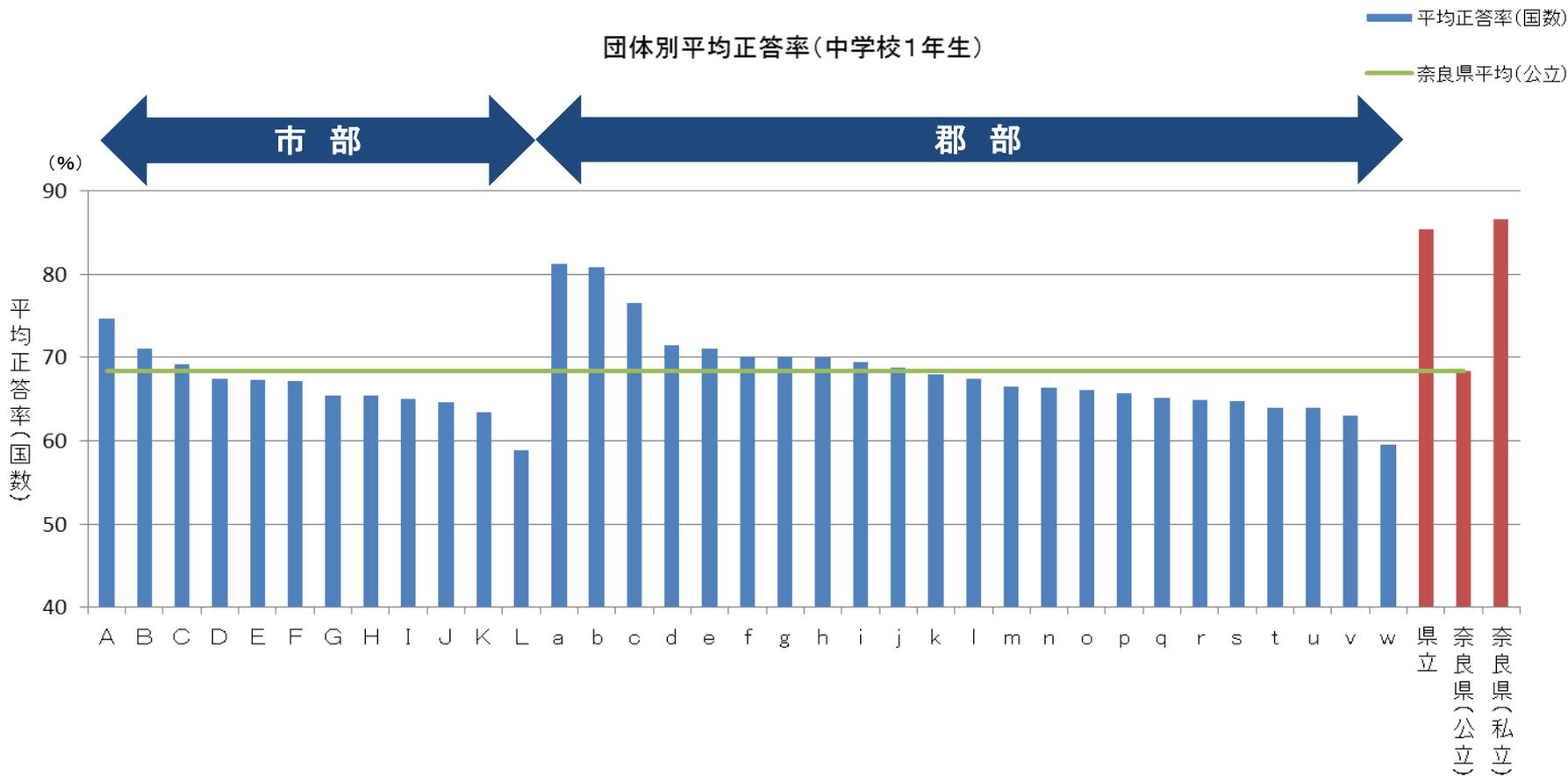
注)4教科総合:国語A、B、算数・数学A、Bの各平均正答率を相加平均したもの



※ 生徒数が3人以下の2団体は非表示。

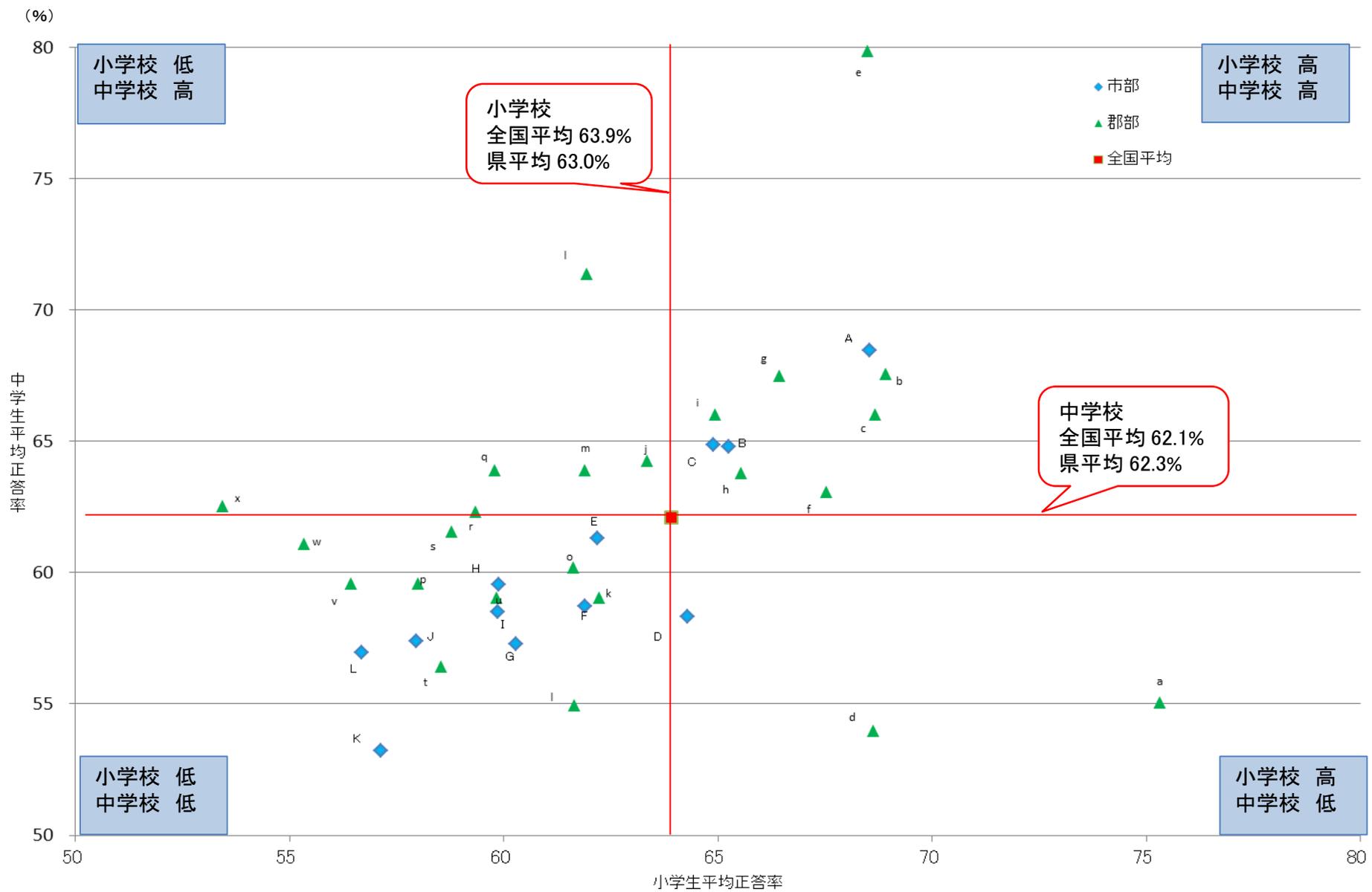
1-8 学力(団体別比較・中学校1年生) ※奈良県学力・学習状況調査の結果より

・団体別に平均正答率を見ると、奈良県平均を上回っているのは、市部では12団体のうち3団体25.0%。郡部では26団体のうち13団体50.0%。



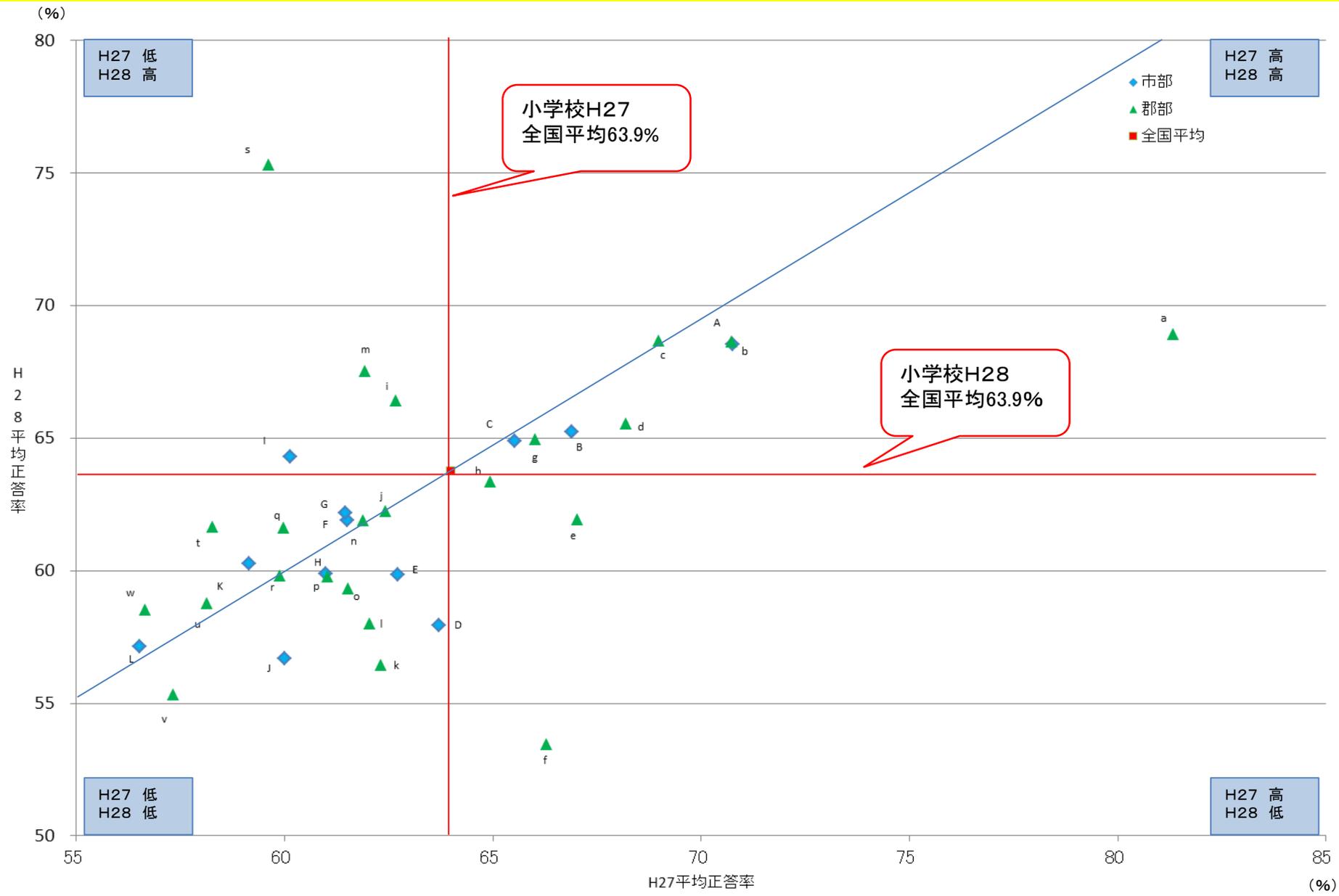
※ 生徒数が3人以下の3団体は非表示。

1-9 学力(団体別比較・小学校と中学校)



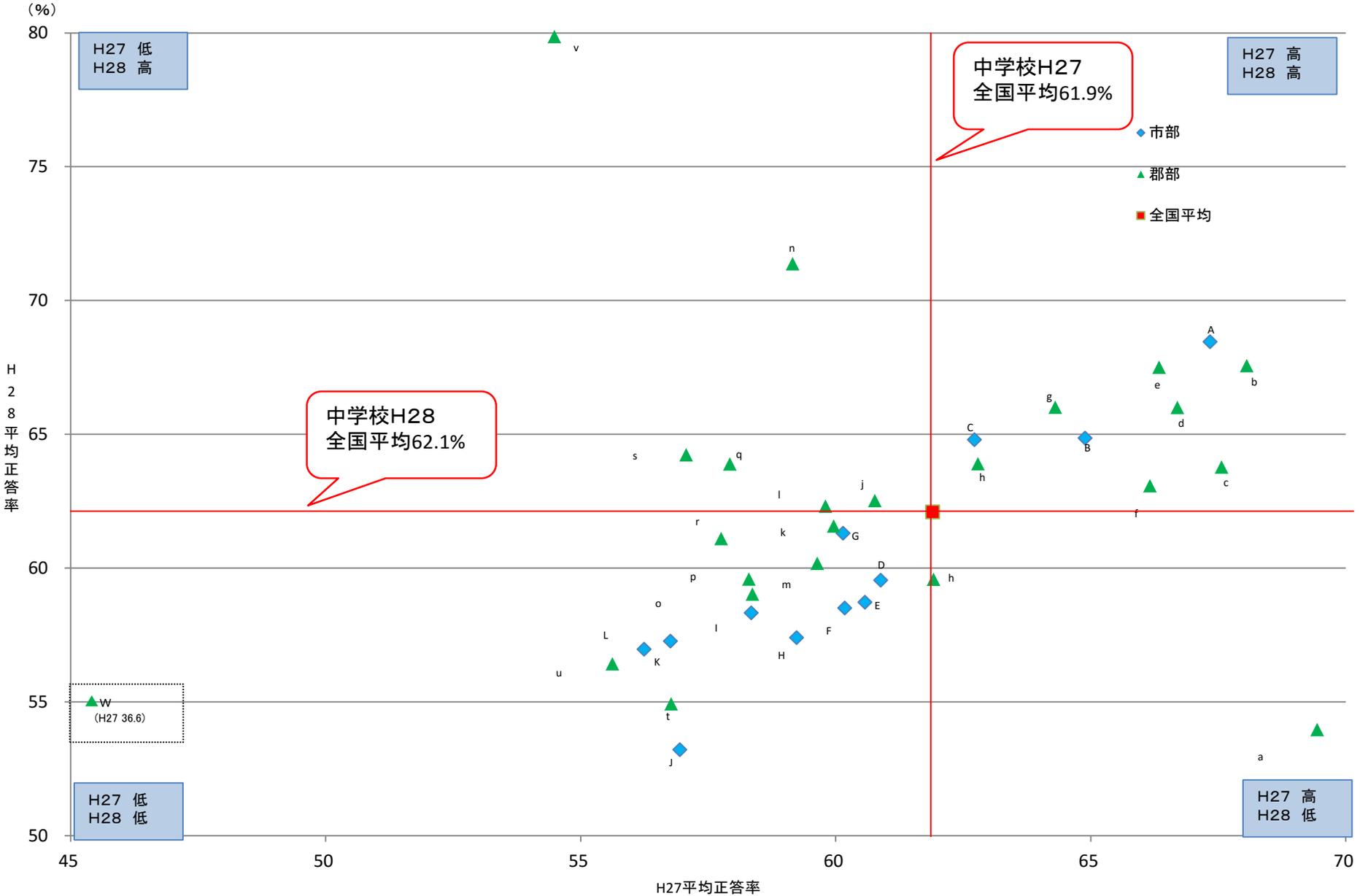
※ 児童・生徒数が3人以下の3団体は非表示

1-10 学力(団体別比較・小学生の推移H27→H28)



※ 児童数が3人以下の4団体は非表示。

1-11 学力(団体別比較・中学生の推移H27→H28)

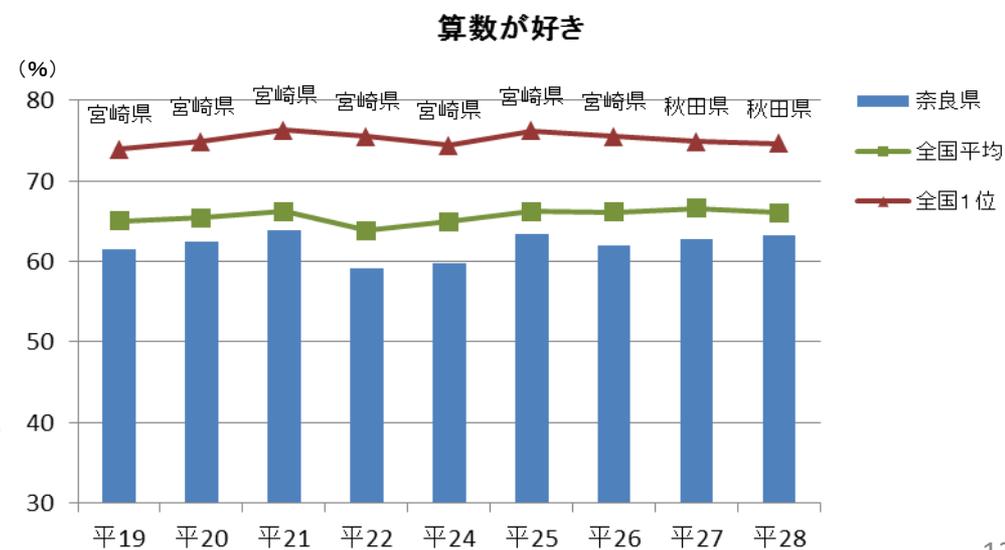
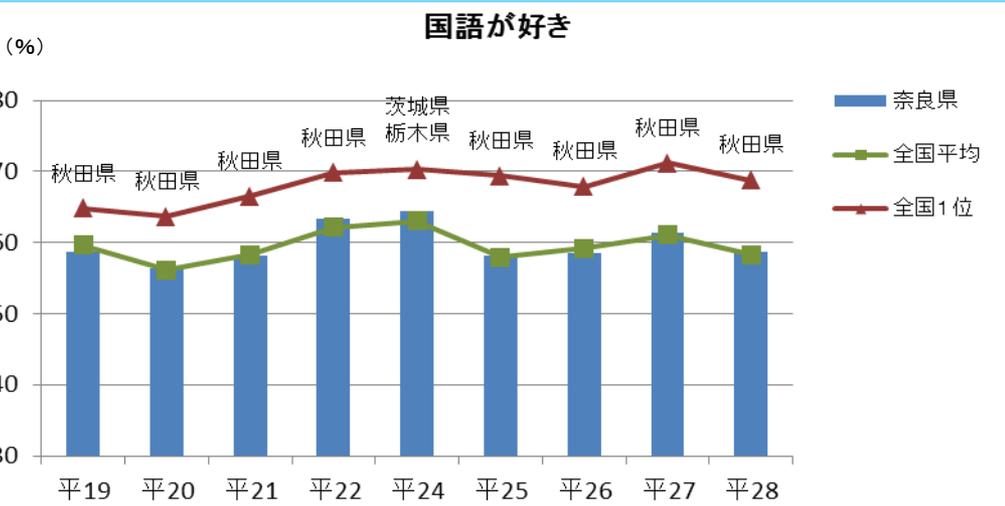
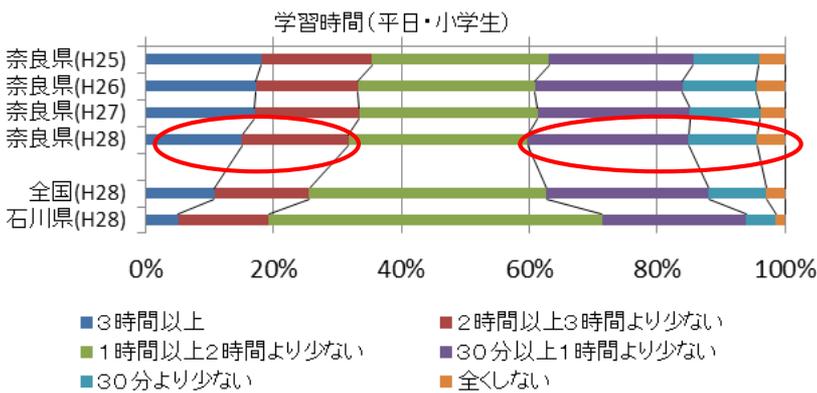
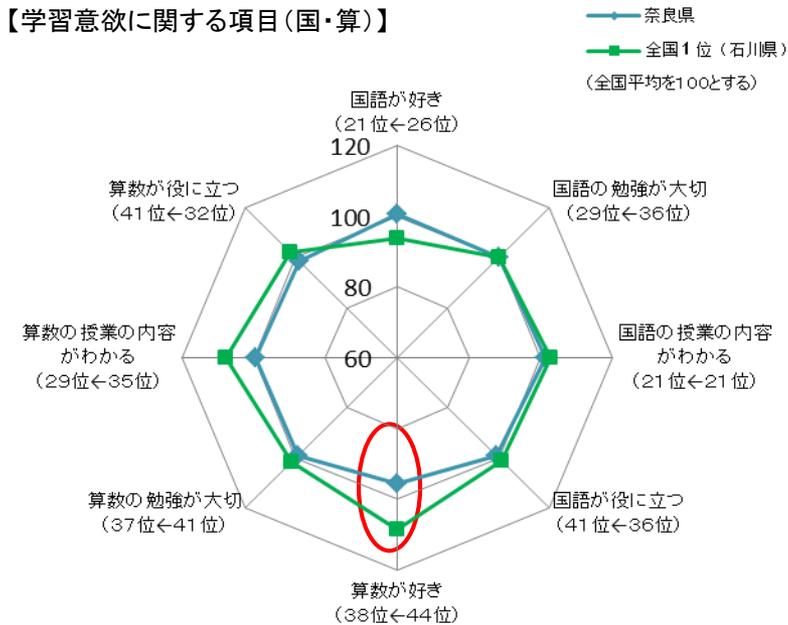


※ 生徒数が3人以下の3団体は非表示。

1-12 学習意欲(小学生)

- ・学習意欲に関する項目をみると、多くの項目で全国平均並みであるが、「算数が好き」という項目での差が顕著に見られる。
- ・平日の学習時間について、「2時間以上」と「1時間未満」の割合が全国平均より高く、依然として二極化傾向が続いている。

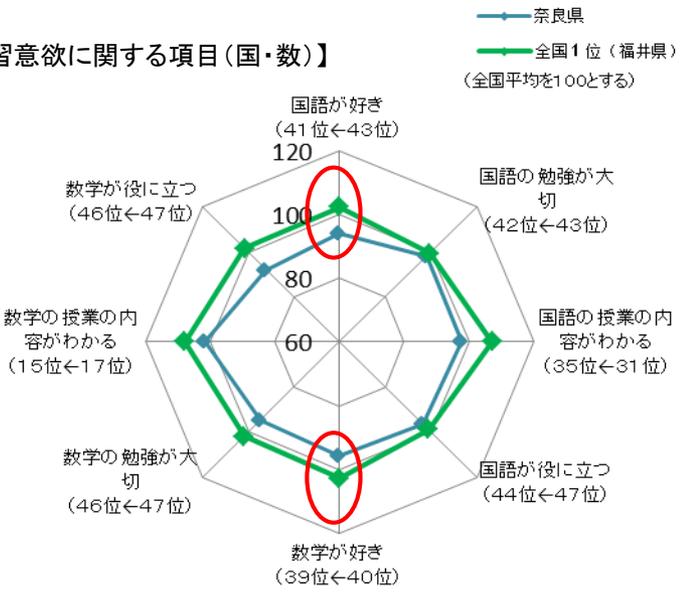
【学習意欲に関する項目(国・算)】



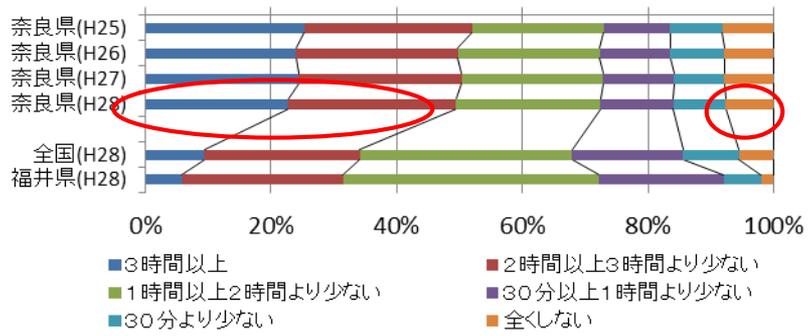
1-13 学習意欲(中学生)

- ・学習意欲に関する項目をみると、多くの項目で全国平均を下回っており、「国語・数学が好き」という項目でその差が顕著である。
- ・平日の学習時間について、「2時間以上」の割合は、全国トップクラスである。一方で「全くない」の割合も高く、依然として二極化傾向が続いている。

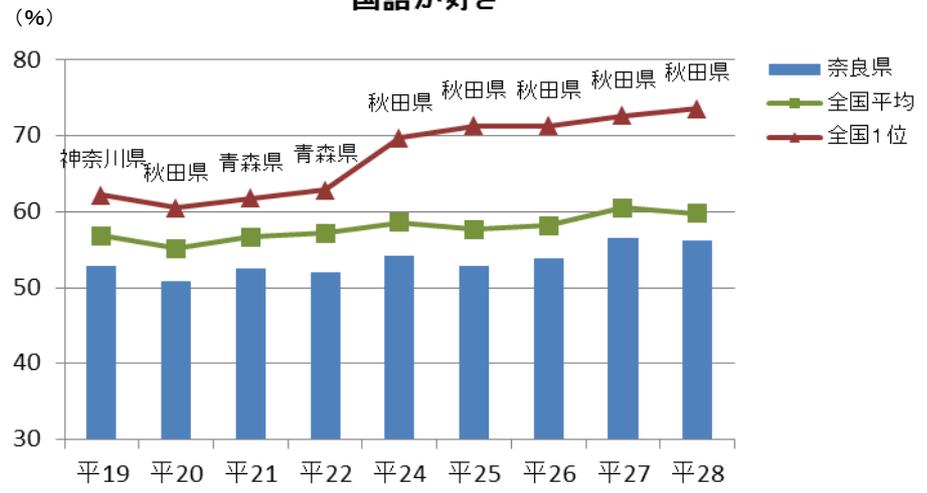
【学習意欲に関する項目(国・数)】



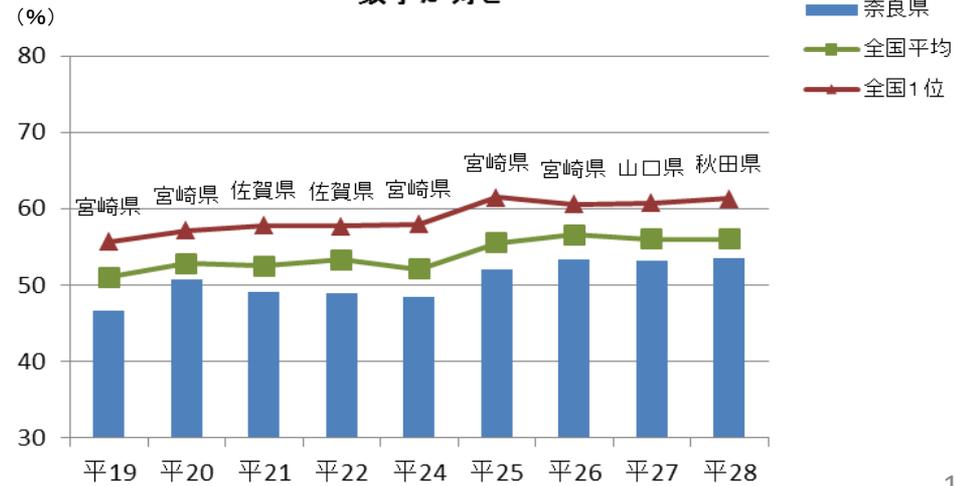
学習時間(平日・中学生)



国語が好き



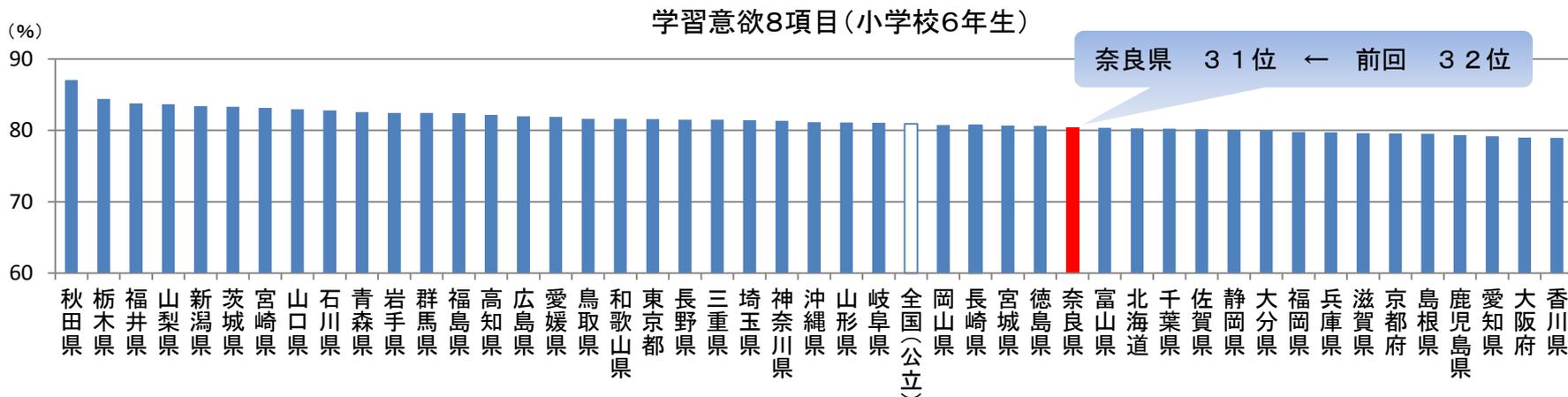
数学が好き



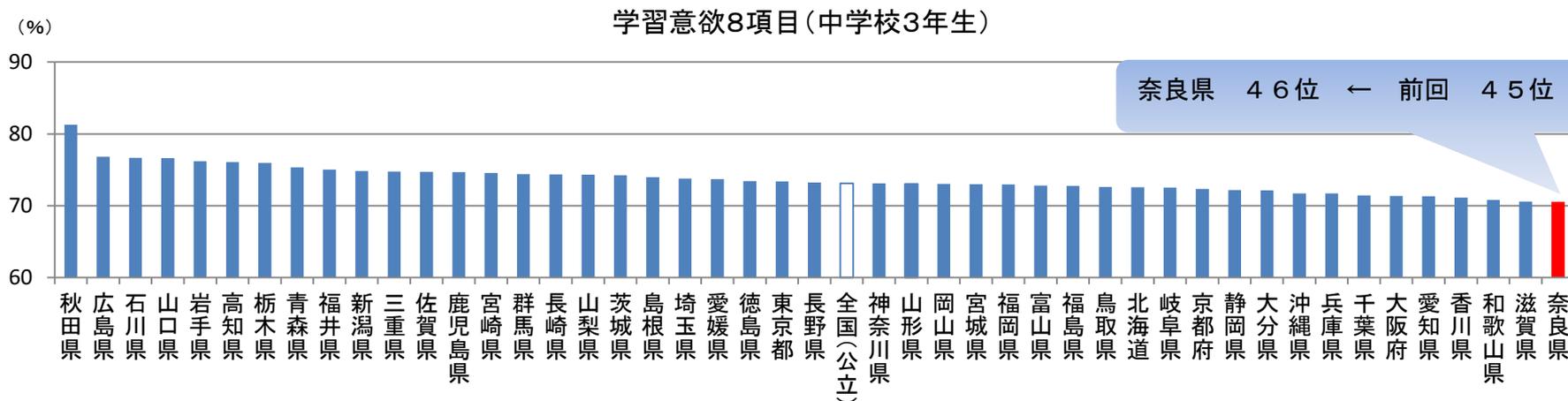
1-14 学習意欲の状況(都道府県別比較)

・都道府県別に、学習意欲に関する項目(8項目の肯定的割合の相加平均)を見ると、都道府県間で大きな差は見られないが、小学生31位(昨年度32位)、中学生46位(昨年度45位)と低位にある。秋田県が小・中学生とも1位である。

【小学生】

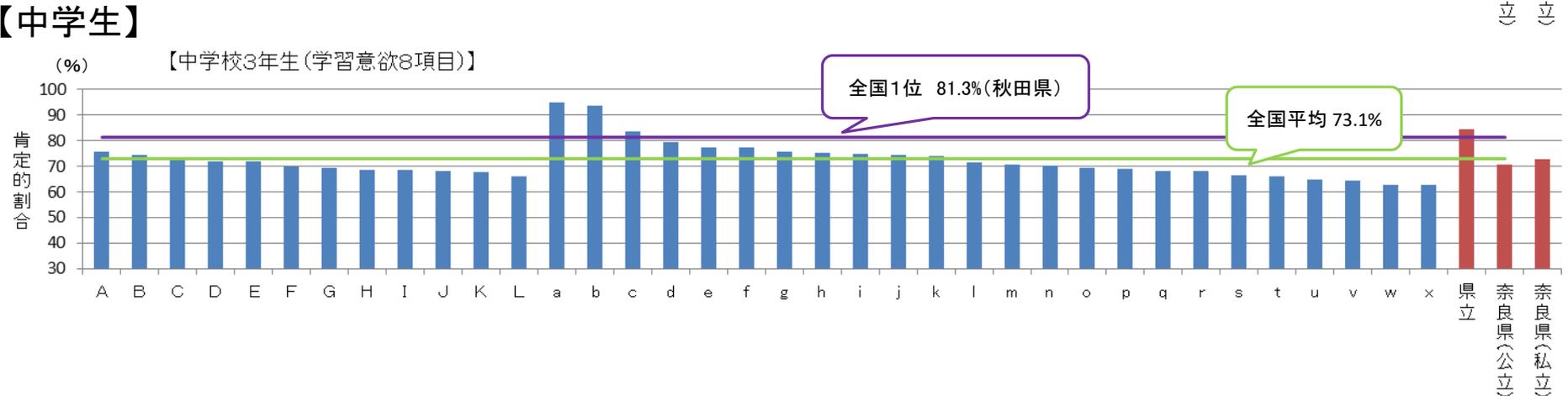
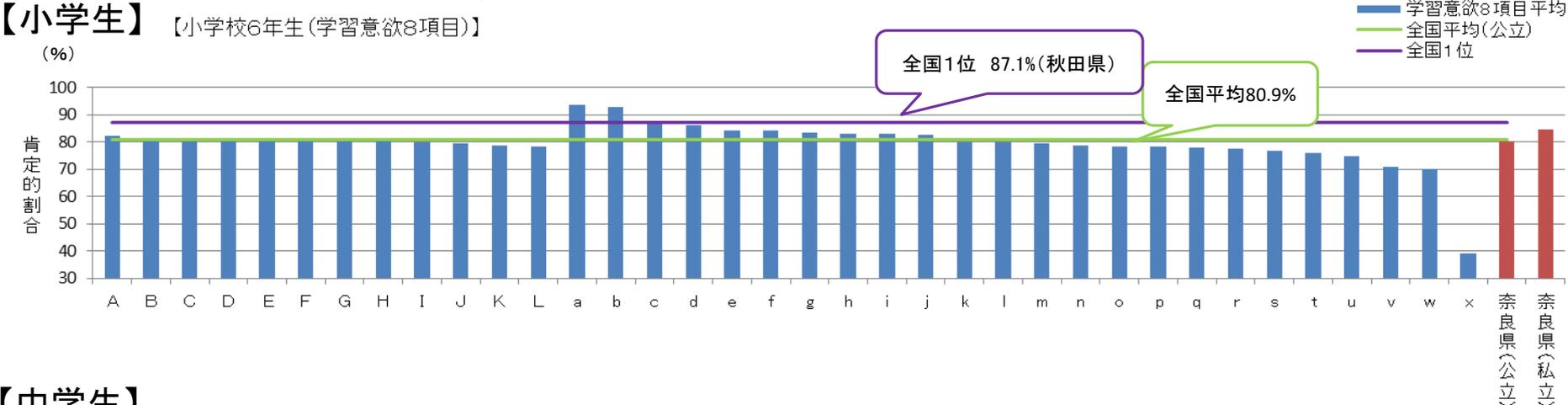


【中学生】



1-15 学習意欲の状況(団体別)

・団体別に、学習意欲に関する8項目(8項目の肯定的割合の相加平均)を見ると、全国平均を上回っているのは、小学生では、市部で7団体58.3%、郡部で10団体38.5%。中学生では、市部で2団体16.7%、郡部で12団体48.0%である。



※ 児童数が3人以下の3団体は非表示。
 ※ 生徒数が3人以下の2団体は非表示。

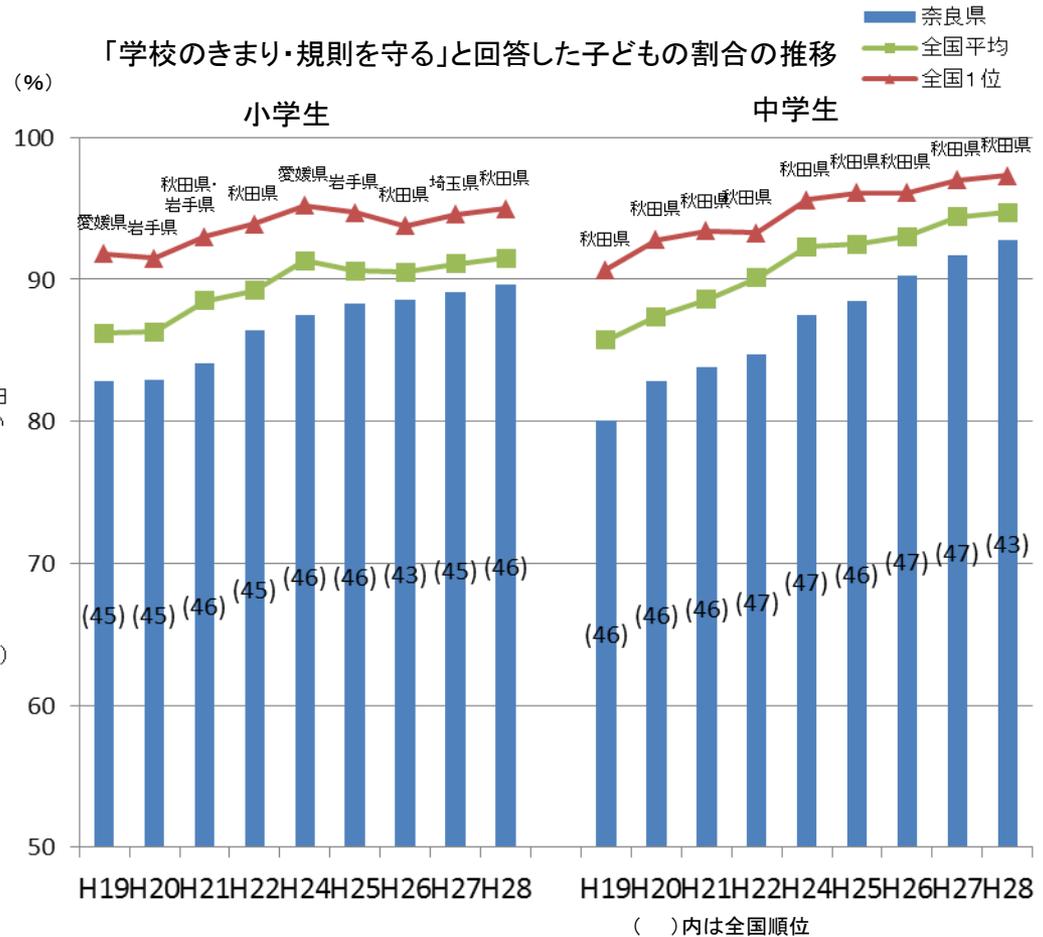
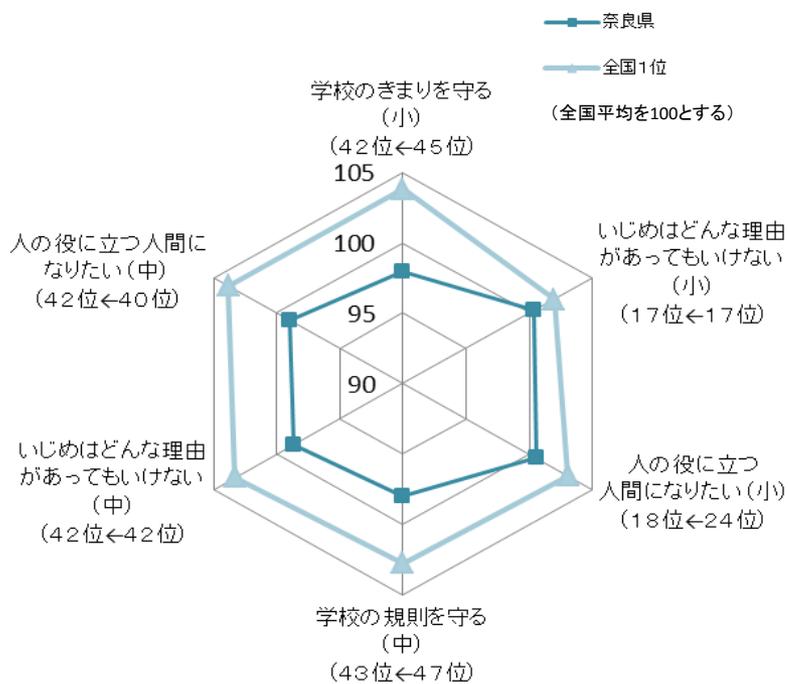
2 規範意識の状況について

2-1 規範意識の状況

・規範意識に関する項目に肯定的に回答した児童生徒の割合を見ると、小学校はほぼ全国平均並みであるが、中学校で全国平均との差が見られる。小学校、中学校ともに「学校のきまり(規則)を守る」の項目で全国平均との差が大きい、年々改善傾向が見られる。

注)規範意識：広く集団生活の維持・向上のために一人一人が従うべき価値判断の基準を守ろうとする意識

【規範意識(小・中学生)】



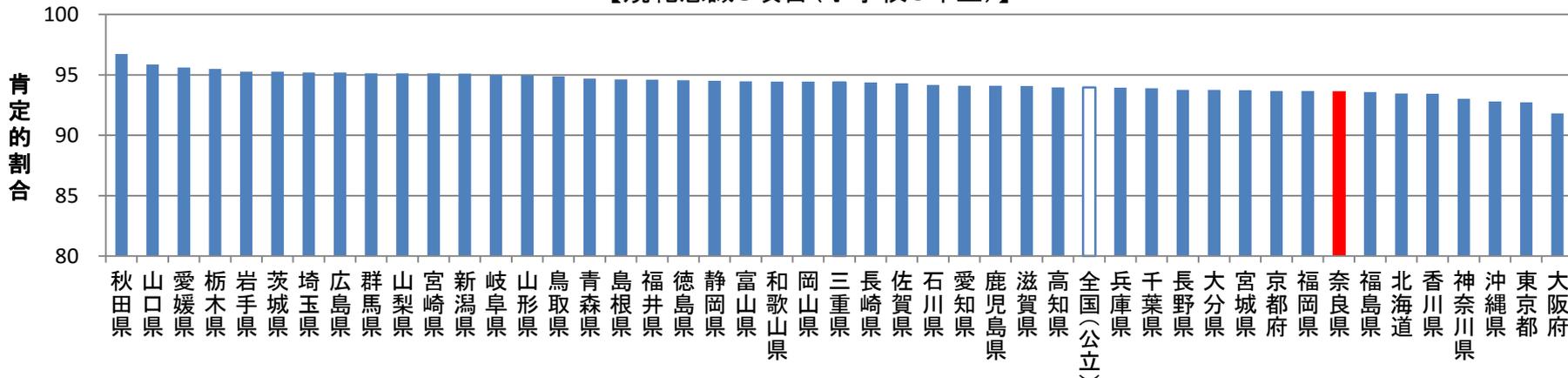
2-2 規範意識の状況(都道府県別比較)

・都道府県別に、規範意識に関する項目(3項目の肯定的割合の相加平均)を見ると、都道府県間で大きな差は見られないが、奈良県は小学生39位(昨年度は4項目で37位)、中学生44位(昨年度は4項目で46位)と低位にある。秋田県が小・中学生とも1位である。

【小学生】

(%)

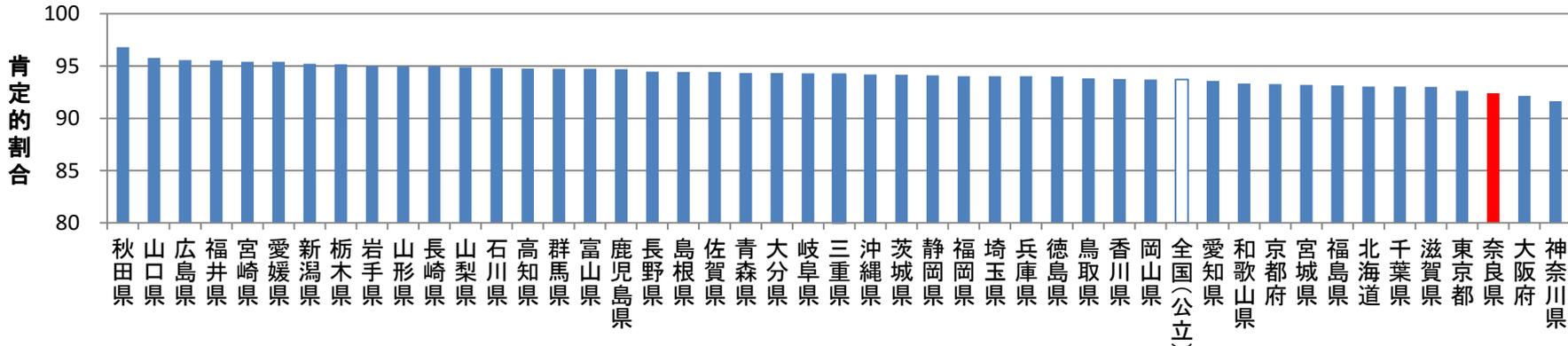
【規範意識3項目(小学校6年生)】



【中学生】

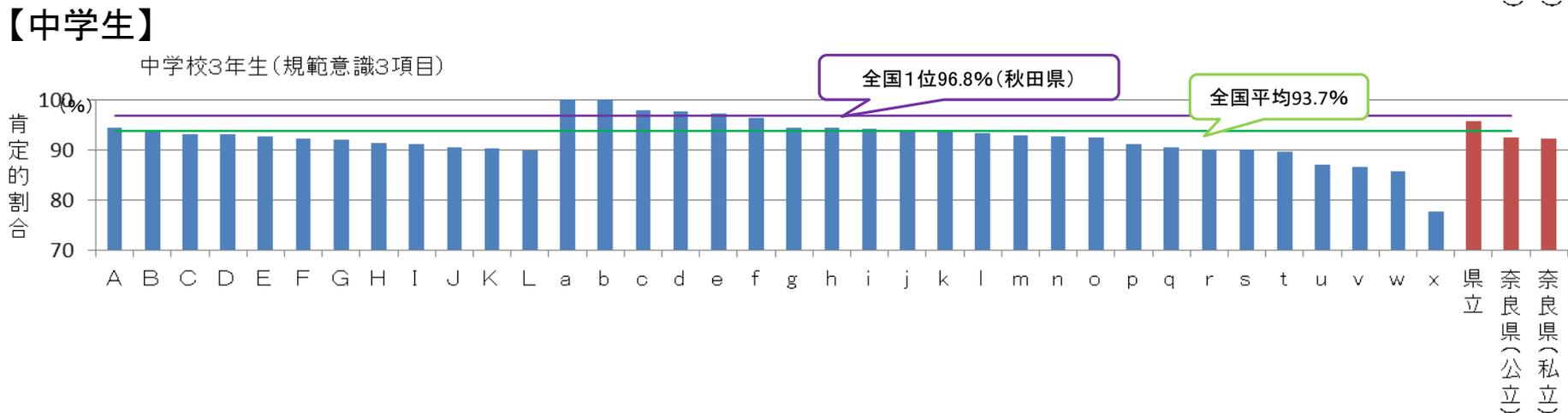
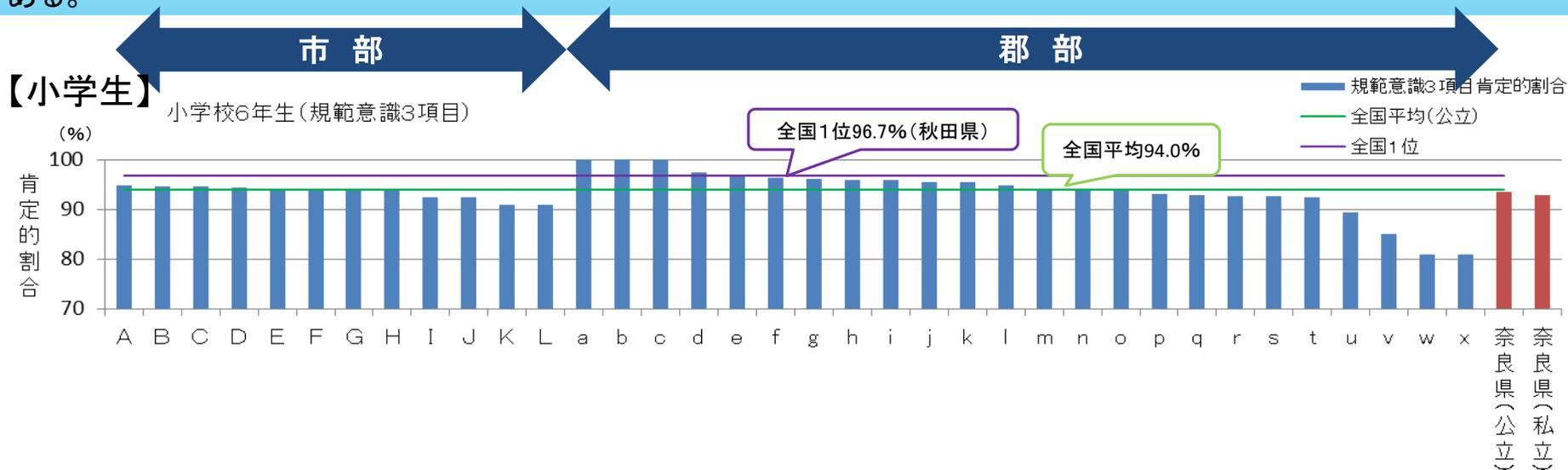
(%)

【規範意識3項目(中学校3年生)】



2-3 規範意識の状況(団体別)

・団体別に、規範意識に関する項目(3項目の肯定的割合の相加平均)を見ると、全国平均を上回っているのは、小学生では、市部で5団体41.7%、郡部で15団体57.7%。中学生では、市部で2団体16.7%、郡部で11団体44.0%である。



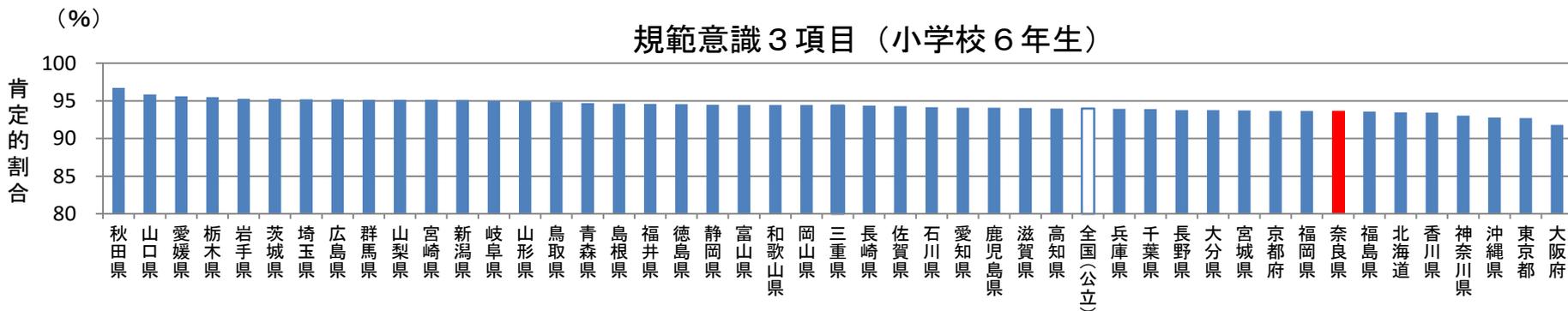
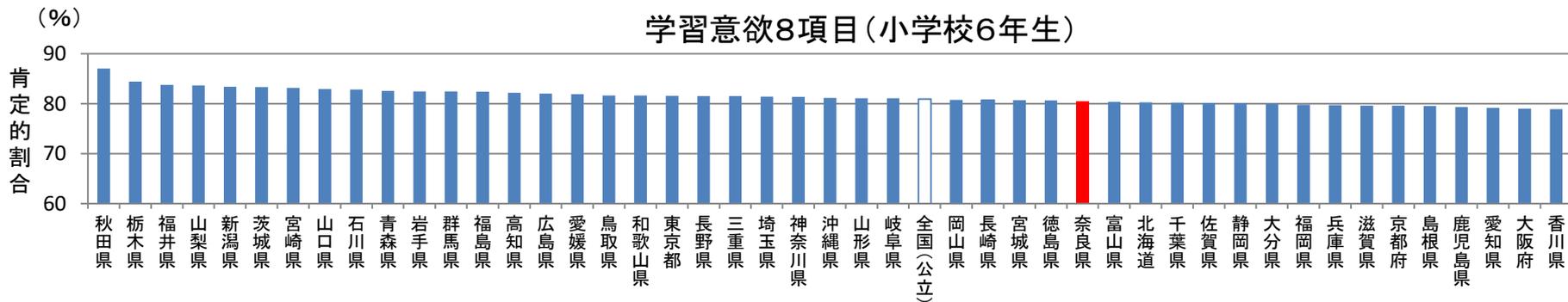
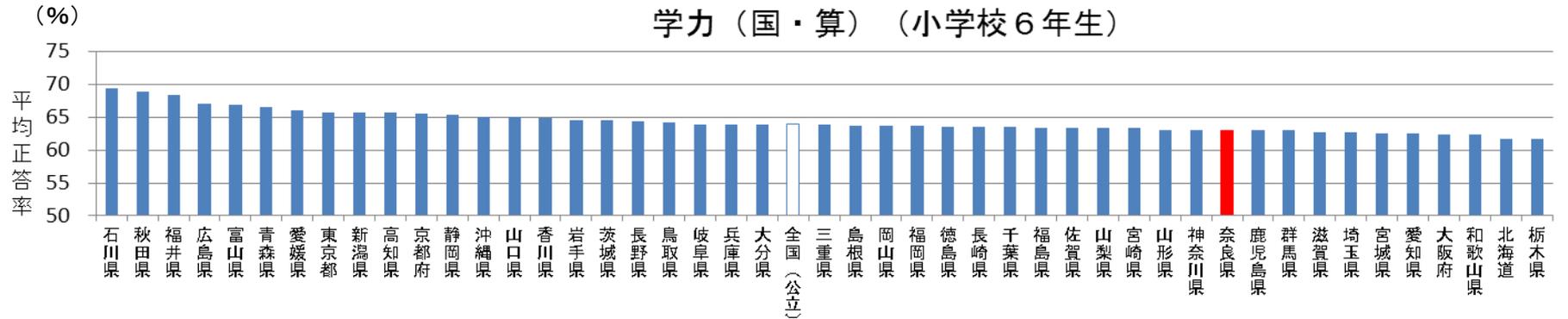
※ 児童数が3人以下の3団体は非表示。

※ 生徒数が3人以下の2団体は非表示。

3 小学校における学力と学習意欲、規範意識の関係について

3-1 都道府県別の状況について

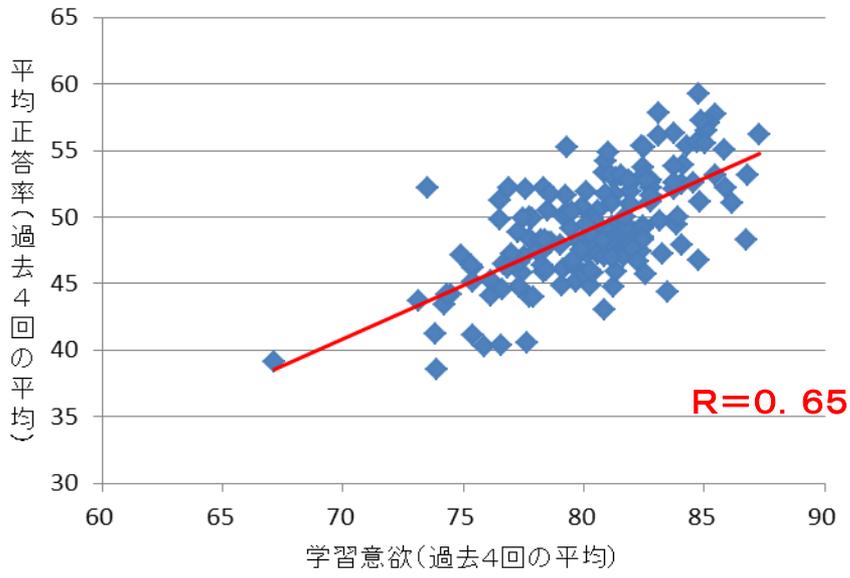
奈良県を含む近畿府県では、学力、学習意欲、規範意識ともに、全国平均より低い傾向にある。一方、秋田県では、全ての項目で全国上位となっている。



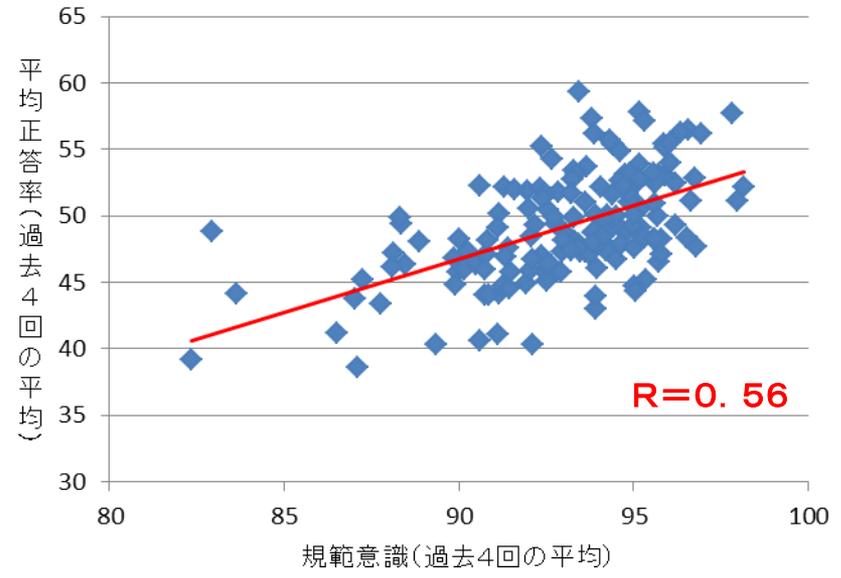
3-2 過去4年間の小学校別の相関について

- ・学力と学習意欲、規範意識に関する項目における過去4年間の学校別の相関を見ると、学力と学習意欲、学力と規範意識には高い相関が見られた。
- ・学習意欲に関する項目の中では「国語・算数の授業が分かる」($R=0.67$)、規範意識に関する項目の中では「人の役に立ちたいと思う」($R=0.53$)に最も高い相関が見られた。

学力と学習意欲の相関



学力と規範意識の相関

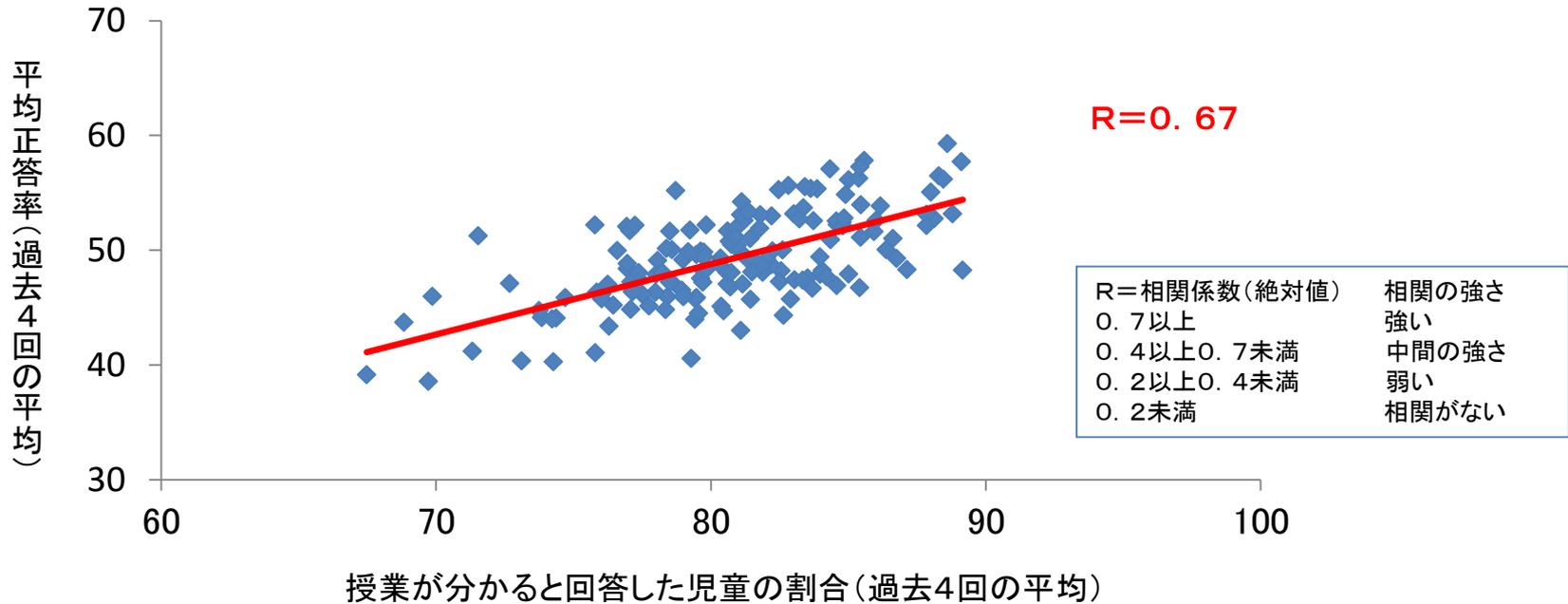


| | |
|-------------|-------|
| R=相関係数(絶対値) | 相関の強さ |
| 0.7以上 | 強い |
| 0.4以上0.7未満 | 中間の強さ |
| 0.2以上0.4未満 | 弱い |
| 0.2未満 | 相関がない |

3-3 学力と「授業が分かる」の相関について

・平均正答率と「授業が分かる」と回答した児童の割合の4年間の相関を見ると、学力と「授業が分かる」にはどの年度においても相関があり、過去4回の平均で、最も強い相関が見られた。
(平成25年度 R=0.55 平成26年度 R=0.44 平成27年度 R=0.44 平成28年度 R=0.49)

学力と「授業が分かる」の相関(児童数が20人以上の小学校)



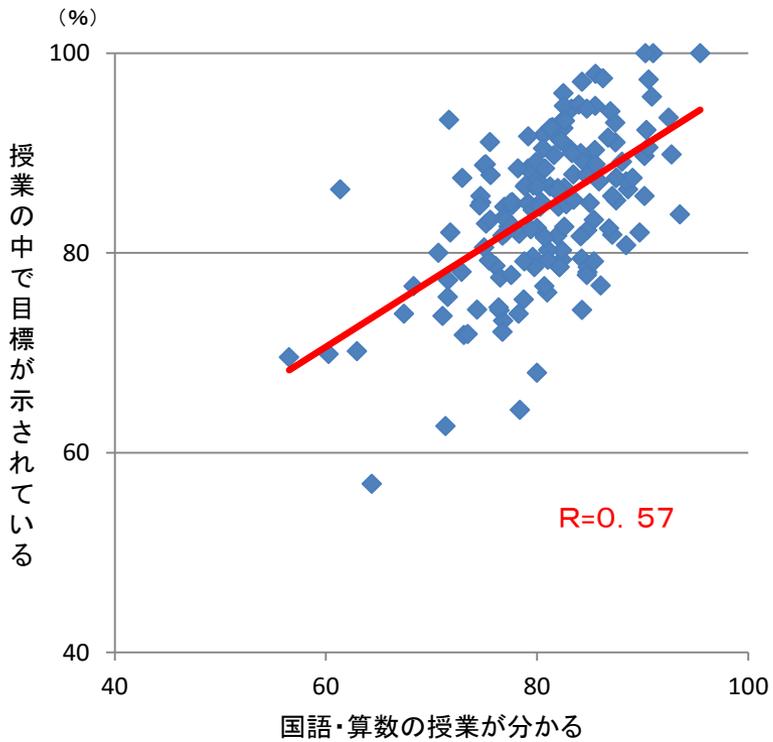
※ 平均正答率
国語A、国語B、算数A、算数Bの4科の平均正答率を相加平均し、全国平均を50として換算したもの

※ 授業が分かる
「国語の授業の内容はよく分かる」と「算数の授業の内容はよく分かる」に肯定的に回答した児童の割合を相加平均したもの

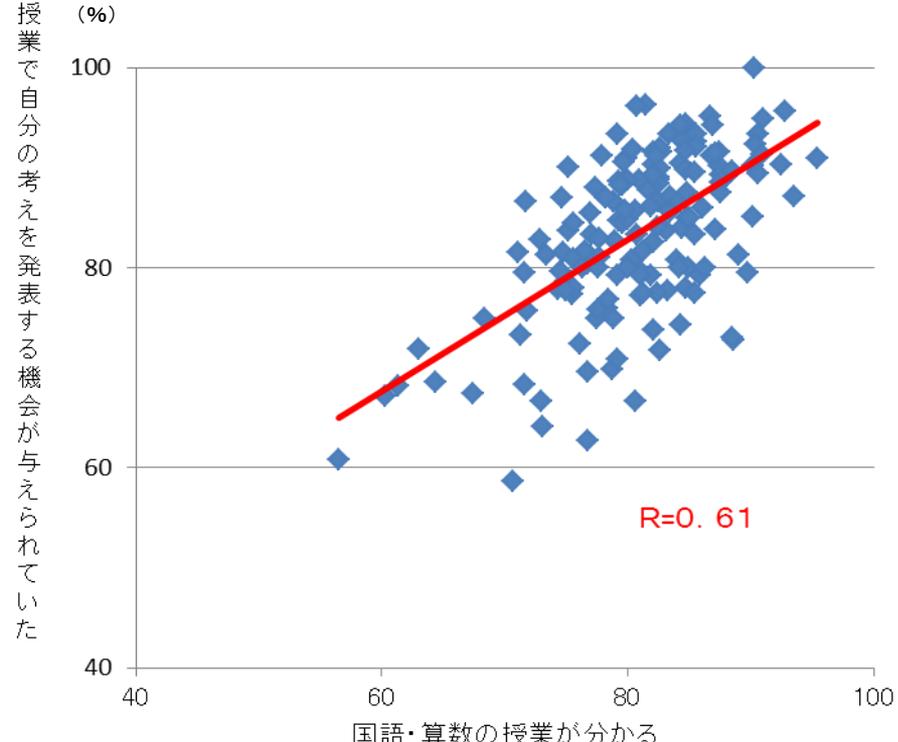
3-5 「授業が分かる」と関連の強い項目について

・「授業が分かる」と、その他の質問紙の項目の回答との相関を分析すると、「授業の中で目標が示されている」「授業で自分の考えを発表する機会が与えられている」という回答との相関が強いことが分かった。

「授業の中で目標が示されている」と「授業が分かる」の相関



「授業で自分の考えを発表する機会が与えられていた」と「授業が分かる」の相関



| | |
|-------------|-------|
| R=相関係数(絶対値) | 相関の強さ |
| 0.7以上 | 強い |
| 0.4以上0.7未満 | 中間の強さ |
| 0.2以上0.4未満 | 弱い |
| 0.2未満 | 相関がない |